

# 現況<sup>(※1)</sup>における 携帯電話不通可能性ランク

想定地震：東京湾北部地震 (M7.3)  
冬・時間18時・風速8m/s

地震被害シミュレーションは、地震の規模や震源地、発生時刻や風速など、一定の条件を設定して行った想定の一つです。  
実際の首都直下地震の被害は、今回の想定結果と比べて小さい場合もあれば、大きい場合もあります。  
この結果だけにとられず、大規模な地震に備えていくことが大切です。

## 現況被害想定

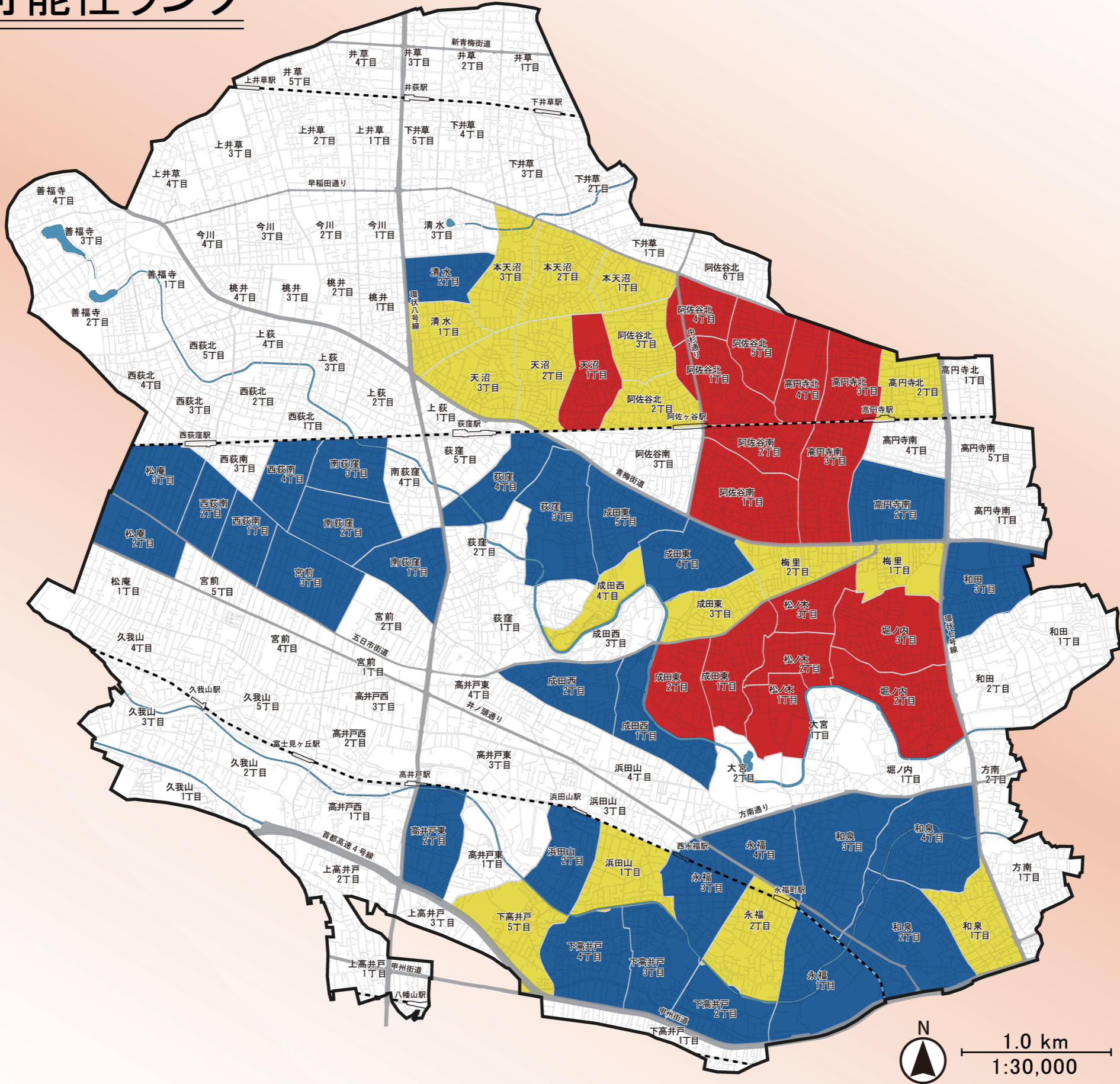
地震が発生したら…

色のついた地域で、  
携帯電話の不通可能性が  
高くなります。

(色がついていない地域は、被害が発生しないということではありません。)

停電率と固定通信不通率の高い地域は携帯電話が不通となる可能性が高いというシミュレーション結果となっています。

※通信会社が行う発信制限や、電話の集中により発生する輻輳については考慮しておりません。



### 凡例：町丁目別携帯電話不通可能性ランク

- A (停電率、固定通信不通率の少なくとも一方が 50%以上)
- B (停電率、固定通信不通率の少なくとも一方が 40%以上)
- C (停電率、固定通信不通率の少なくとも一方が 30%以上)

今回のシミュレーションについても、平成 28 年度の調査同様、杉並区全体を 50m メッシュ (50m×50m) 単位で区割りして被害想定を行ったうえで、その結果を町丁目単位で集計し評価することにより、被害想定結果をより身近なイメージとして分かりやすくとらえていただけるように示しています。

※(参考：復旧目安)<sup>(※2)</sup>  
熊本地震：10 日程度

(※1) 現況：平成 28 年度の地震被害シミュレーション（建物被害編）の結果及び平成 28・29 年度のライフライン設備等のデータをもとにシミュレーションしています。  
(※2) 復旧目安については、「平成 28 年熊本地震 熊本市 震災記録誌（平成 30 年 3 月）」を参照。

